

## 中世哲学関係文献目録補遺

(1987年4月より1990年3月まで、ABC順、出版年は下2桁を表示)

### 単行本

- 水波 朗 トマス主義の法哲学 (九州大学出版会) 87.2  
" トマス主義の憲法学 (九州大学出版会) 87.2  
長倉 久子 Un Dieu Transcendant, Créateur et Exemple selon saint Bonaventure: Un essentialisme Cohérent. Atelier National de Reproduction des thèses 88.  
茂泉 昭男 アウグスティヌス研究——徳・人間・教育——(教文館)87.6  
依田 義右 神真似の系譜 (見洋書房) 89.5

### 翻訳

- A. H. アームストロング 古代哲学史——タレスからアウグスティヌスまで  
岡野昌雄 川田親之共訳 (みすず書房)87.3  
ボナヴェントゥーラ Itinerarium mentis in Deum (I) 三木利英訳 (岡山女子短期大学紀要11)88.10  
ボナヴェントゥーラ Itinerarium mentis in Deum (II) " (岡山女子短期大学紀要12)89.10  
ボナヴェントゥーラ 魂の歷程(7)第7章翻訳と注解, 長倉久子訳 (南山神学13・南山大学) 90.2  
ヨハネス・エリウゲナ ヨハネ福音書序文説数 今義博訳 (哲学9・哲学書房) 89.  
C. H. ハスキンス 十二世紀ルネサンス 別宮・朝倉共訳 (みすず書房) 89.10  
J. ハルトマン 自由とは何か 朝倉・滝田共訳 (ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所年報) 89.3/90.3  
L. J. レッカイ シトー会修道院 朝倉文市訳 (平凡社) 89.11

### 研究論文

- 荒井 洋一 神の國と地の国 (天台12) 87.7  
" アウグスティヌスの『告白』における時間論の構図 (東京学芸大学紀要40) 89.2  
朝倉 文市 シトー創立者たちの精神と聖ベネディクト会則 (英知大学キリスト教文化研究所紀要) 87.3

- 朝倉文市 シトー創立者たちの精神——その理念と現実——（ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所年報）89.3
- ” 歴史と解釈——ルネサンス論から中世論へ——（ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所年報）90.3
- 岩熊 幸男 *Instantiae: An Introduction to a Twelfth Century Technique of Argumentation* (*Argumentation* 1) 87.
- 加藤 信朗 *Cor, Praecordia, Viscera——Bemerkungen zu einigen psychosomatischen Ausdrücken in Augustins Confessiones*, (*Revue Internationale de philosophie moderne*, 5, Centre International pour Étude Comparée de Philosophie et d'Éthétique) 87.10
- ” *Cor, Praecordia, Viscera. Remarques sur quelques expressions psychosomatiques des Confessions d'Augustin*, (*Saint Augustin, Dossier conçue et dirigé par Patric Ranson, L'Age d'homme*) 88.10
- ” シンポジウム提題：アリストテレス倫理学の両義性とトマス・アクィナスにおけるその受容と変容——アリストテレスの「賢慮（*φρόνησις*）」と「倫理的徳（*ἠθικὰ ἀρεταί*）」・トマスの「倫理的徳（*virtutes morales*）」と「神学的徳（*virtutes theologicae*）」（中世思想研究 30・中世哲学会）88.9
- 小松真理子 トマス・アクィナスと人間の発生の問題（生物学史研究 49・日本科学史学会生物学史分科会）87.12
- ” 中世の医学と自然哲学——スコラ医学者と人間の発生の問題——（西欧科学史の位相・培風館）89.9
- 今 義博 言い表わせないものをいかに言い表わすか——エリウゲナにおける存在論的根拠づけ（山梨大学教育学部研究報告 38・山梨大学教育学部）87.
- ” エリウゲナによる「肯定神学」と「否定神学」のラテン語思想圏への移入について（山梨大学教育学部研究報告 39・山梨大学教育学部）88.
- 熊地 康正 トマス・アクィナスにおける無限の意味（上智哲学誌 3・上智大学大学院哲学研究科）89.5
- 宮本 久雄 人間的行為の根拠とわたしの生の成立——トマス・アクィナスに依拠しつつ——（人文科学科紀要 89・東京大学教養学部哲学研究室）88.
- ” 擬ディオニュシオスの言語表現（神秘）をめぐる（その 1）（エイコーン 1・新世社）88.
- ” 同上（その 2）（エイコーン 2・新世社）89.
- ” 心とは何か—私と他者（「心のありか」人間と文化 3・東京大学出版会）89.
- ” 心身観における東洋と西洋（「体育の科学」40・杏林書院）90.

- 中川 純男 Non dubia, sed certa conscientia—Augustinus, *Confessiones* X,6,8  
(中世哲学研究7・京大中世哲学研究会) 88. 10
- 中山 善樹 Sic relinquitur eius effectus in anima—エックハルトにおける神認識の問題—(「神秘主義を学ぶ人のために」世界思想社) 89. 1  
" 西ドイツにおける中世思想研究の現況(「理想」641・理想社) 89. 1
- 小田川方子 プロティノスとマイスター・エックハルト—自己の根源への還帰—  
(比較思想研究15・日本比較思想学会) 89. 3
- 小川 量子 ドゥッンス・スコトゥスにおける知の確実性について(上智哲学誌3・上智大学大学院哲学研究科) 89. 5
- 萩野 弘之 QUADERERE INVOCANS—アウグスティヌス『告白録』冒頭における探究の構図—(論集40・1・東京女子大学) 88. 9
- 岡野 昌雄 権威と理性—初期アウグスティヌスとの対話—(人文科学研究21・国際基督教大学キリスト教と文化研究所) 87. 12
- 大草 一治 アウグスティヌスにおける *Peregrinatio amoris ad Deum* の形而上学  
(1)(研究紀要17・聖母女学院短期大学) 87.  
" アウグスティヌスにおける *Peregrinatio amoris ad Deum* の形而上学  
(2)(研究紀要18・聖母女学院短期大学) 88.  
" 人間学の座標(1)存在の位相(研究紀要19・聖母女学院短期大学) 89.
- 鷲見 誠一 支配原理としての中世ローマ教皇制(法学研究62・10・慶応大学法学部) 89. 10
- 谷口 茂 トマス・アクィナスの神学におけるアイデア論の位置付け(南山神学別冊7・南山大学大学院神学研究室) 89. 3
- 津崎 幸子 トマス・アクィナス(「西洋美学のエッセンス」ペリかん社) 87. 4  
" スコラ哲学における美論(「美の変貌」世界思想社) 98. 5
- 矢玉 俊彦 第一に把握される ens—トマス・アクィナスの根源的認識の理論(上智哲学誌3・上智大学大学院哲学研究科) 89. 5
- 山田 晶 アナログアと一義性(季刊哲学7・哲学書房) 89. 7
- 山下 正男 宗教論序説—宗教的文章の本性について—(人文学報65・京大人文研) 89. 3  
" 宗教の約束するもの(人文学報65・京大人文研) 89. 3
- 吉岡 俊輔 クルアーンに見出される《創造》概念の特色—創造の反覆を中心として—その〔2〕(哲学39・広島哲学会) 87. 10

## 書評

- 岩田 靖夫 真方敬道, 「中世個体論研究」, 「異教文化とキリスト教の間」南窓社, 1988. (図書新聞第634号) 89. 3

- 宮本 久雄 A. ラウス「キリスト教神秘思想の源流」(水落訳) 教文館, 1988年(週刊読書人) 88.
- ” 「エックハルト1」(植田訳) 教文館, 1989年(同上) 89.